

みんゆう 随想

幌尻山荘に食料や寝袋を預け身軽で再スタートしたものの、いきなりの急登に直面し、息切れしないようペースを落とし、ノンストップ一步一步無心で約2時間、「命の泉」で小休止。斜度を稼ぎ漸くして稜線に出たら素晴らしい展望が開けました。山頂までの左カーブのコースがくつきり確認でき「頂上は高く遠いな」とため息。北カールの絶景に見とれて進み、ふと気付くと足元には色どりに咲き誇る可憐なお花。辺りを見渡すと、どこまで続くのか傾斜地一面の広

渡辺 裕之

福島市・渡辺エンジニアリング
代表取締役



大な高山植物園です。普段を歓迎し、素晴らしい展望には十分でした。関心のなさそうなAさんも与えてくれました。Aさ感動して私より先にパチパンの到着と同時に満面の笑みで撮影が始まりました。みで握手をして、証拠の記時雨が来て、濡れると体念写真と昼食休憩。疲れを裏に焼き付けながら下山し温が奪われ疲れが増すので忘れ壮快な気分、今日までいると、初めて男女4人早速雨具を着用。視界が一段のさまたまな人生体験に転じ静寂のなか稜線歩きが感謝し、もう少し夢を追い続きますが、登山者には出続けたい思いを密かに抱き

山に魅せられて(15)

会いません。何時しかお花マツ帯に。日高山脈の山奥に深く入り込み、百名山のと、大きな岩場に小刻みになかでもトップクラスの難関、夢見て2年越しの「幌尻岳」は目前となりました。山頂では万歳をしてAさんを残動物といわれる「ナキ」を待ちました。雨は上が暫しの晴れ間がわかれ

会いません。何時しかお花マツ帯に。日高山脈の山奥に深く入り込み、百名山のと、大きな岩場に小刻みになかでもトップクラスの難関、夢見て2年越しの「幌尻岳」は目前となりました。山頂では万歳をしてAさんを残動物といわれる「ナキ」を待ちました。雨は上が暫しの晴れ間がわかれ

天候は下り坂、気を引きは余計なことを言わず「気をつけて」見送りました。約14時間半の行程を終え幌尻山荘に無事到着。外で自炊食事するところですが雨模様となり、部屋でウイスキーと持ち込んだ食材でゆったり夕食を楽しまし